

(12) 非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	担当時間数
学習臨床学特論	12
いのち教育論	20
道徳教育特論	30
学校モラルトレーニング演習	30
心理教育的アセスメント演習	30
投映法特論	30
発達臨床心理学特論	30
心身医学特論	30
聴覚障害心理・生理学論	30
知的障害心理・生理学論	32
視覚障害教育課程・指導法	10
地域環境・地誌学特論	30
数学教育学特論B	30
地圏環境進化学特論	30
指揮法研究	30
複合造形研究	30
木工芸研究	30
金属加工学特論	30
住居学演習	30
校内の授業研究のシステム化と授業研究の方法	30

イ 学校教育学部

授業科目名	担当時間数
社会教育計画A	32
社会教育計画B	32
社会教育演習 I	28
社会教育演習 II	28
博物館資料論	10
学校図書館メディアの構成	30
学校経営と学校図書館	30
食と栄養	30
教育工学	30
情報科指導法(授業論)	30
生涯学習概論B	30
保育・表現の指導法	15
保育・健康の指導法	30
家庭の教育と育児	10
子どもの福祉	30
社会福祉 I	30
社会福祉 II	30
養護内容	30
保育者論	30
特別支援教育概論A	6
国文学講読A	32
漢文学講読	32
コミュニケーション英語A I (B1・B2クラス)	32
コミュニケーション英語A I (D1・D2クラス)	32
コミュニケーション英語A II (A3・A4クラス)	32
コミュニケーション英語C I (Dグループ)	32
コミュニケーション英語C II (Cグループ)	32
英文学演習	30
比較文化	30
日本史研究A	32
哲学概説	30
社会学概説	32
ヨーロッパ史認識論	32
地域環境学	30
算数	32
化学	30
化学実験	60
音楽	46
独唱Ⅲ	30
合奏B	30
総合造形表現	15
美術史論	30
金属加工法	30
被服学	15
調理の理論と実習	45
住居学(製図を含む。)	10

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
人間教育学セミナー (教職の意義)	教育実践の視点からの教職の意義	2
健康・安全・食の教育入門	学校が一体をなっていくことが求められている心身の健康、安全及び食に関する指導に関する知識や指導の方法やこれらの指導における学校内の連携、家や地域社会との連携についても学習し、学校における食に関する指導の実践力を養成する。	10
総合・生活科指導法A	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	8
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎 (介護等体験の指導内容を含む)	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	6
障害児保育	様々な障害について理解するとともに、障害のある幼児の保育の実際、保護者への支援等障害児保育に関する基礎的な知識を得る。	14
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	8
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
算数科指導法AB	算数授業の進め方	6
算数科指導法CD	算数授業の進め方	6
数学科指導法	中学校数学の実践	6
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討	8
中等英語科指導法 (授業論)	中学校の英語科授業における授業計画の立て方や評価について実践的な立場から学ぶ。	6
初等音楽科指導法	初等音楽科教育における学習指導法などの理解を深める	14
中等音楽科指導法 (実践応用論)	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす	4
図画工作科指導法	図画工作科の教科とその指導について、実践的立場から講義する。	18
初等体育科指導法	現場実践を踏まえた授業補助	12
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。 教育現場におけるいのち教育の実践について指導助言を行う。	14
中等家庭科指導法 (教材論)	中学校家庭科の教育現場における教材について、紹介、指導、助言を行う。	2

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活 A	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	2
総合・生活 B	生活科・総合的な学習の時間を指導する際、教員志望者に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を、豊富な事例をもとに習得する。 生活科・総合的な学習の時間を指導する際、教員に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を習得する。	16
家庭の教育と育児	乳幼児の教育・保育について実践的な理解を深める。特に3歳未満児の教育・保育を対象とする。	8
実践セミナーⅠⅡ「家庭」、及び実践場面分析演習ⅠⅡ「家庭」	小学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。 中学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	4

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
保育実習Ⅰ	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る。	4

保育実習Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。 児童養護施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	4
介護等体験（社会福祉施設） 事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ （授業基礎研究）	教育実習に向けての授業の質的充実のため	178
教育実地研究Ⅳ （中等教育実習）	教育実習の事前・事後指導にかかわる授業の質的充実のため	14

③ ティーチングアシスタント

修士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
体験学習・共通	五百川 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 B	五百川 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 D	上野 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 E	東原 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 F	伊藤将 他	通年	不定期	30 時間
スポーツ実践 A B	直原	前期	水 2	30 時間
スポーツ実践 C D	直原	前期	木 2	30 時間
ウォータースポーツ	松浦	前期	集中	30 時間
ボールゲーム	榑原, 土田	通年	一部集中	16 時間
コミュニケーション英語 C I	石濱	前期	月 2	18 時間
中国語・中国事情	黎	前期	月 3	30 時間
健康・安全・食の教育入門	角田 他	前期	月 1	15 時間
表現・相互行為教育演習	松本健 他	前期	火 1	30 時間
音楽	長谷川正 他	通年	木 3	80 時間
図画工作 A	洞谷 他	前期	金 3	30 時間
図画工作 B	洞谷 他	前期	木 1	30 時間
図画工作 C	洞谷 他	前期	火 3	30 時間
図画工作 D	洞谷 他	前期	木 4	30 時間
体育 A B	大橋 他	前期	火 4	60 時間
体育 C D	大橋 他	前期	火 2	60 時間
算数科指導法 A B	布川, 宮川	前期	木 2	15 時間
算数科指導法 C D	布川, 宮川	前期	火 2	15 時間
初等音楽科指導法 A B	時得, 尾崎	前期	月 2	30 時間
初等音楽科指導法 C D	時得, 尾崎	前期	木 2	30 時間
図画工作科指導法 A B	阿部靖, 五十嵐史	前期	火 3	30 時間
図画工作科指導法 C D	阿部靖, 五十嵐史	前期	木 1	30 時間
初等体育科指導法 A	周東 他	前期	月 1	30 時間
初等体育科指導法 D	周東 他	前期	水 1	30 時間
初等家庭科指導法 A B	得丸, 佐藤ゆ	前期	火 2	15 時間
初等家庭科指導法 C D	得丸, 佐藤ゆ	前期	火 1	15 時間
栽培法	山崎	前期	木 3	30 時間
電気工学実験実習	川崎	前期	木 4	30 時間
造形基礎 A C	安部 他	前期	月 5	30 時間
指揮法	長谷川正	前期	木 5	30 時間
地理学野外実験	山縣 他	前期	集中	30 時間
書写書道 II	押木	前期	月 3	30 時間
身体表現の基礎	榑原, 大橋	前期	金 2	30 時間
造形基礎 B D	高石 他	前期	月 4	30 時間
地学実験	大場孝, 濤崎	前期	月 4, 5	30 時間
デザインワーク II	安部	前期	月 3, 4	30 時間
工芸表現 B	高石	前期	木 4	30 時間

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
スノースポーツ	市川 他	後期	集中	30 時間
コミュニケーション英語CⅡ	石濱	後期	火 1	22 時間
保育・表現の指導法	阿部靖	後期	金 2	15 時間
教育情報演習A	井上	後期	月 4	30 時間
教育情報演習B	大森	後期	金 3	30 時間
教育情報演習C	高野	後期	月 3	30 時間
教育情報演習D	石川	後期	木 2	30 時間
表現・状況的教育方法演習AB	高石 他	後期	月 5	30 時間
表現・状況的教育方法演習CD	五十嵐素 他	後期	月 5	30 時間
冬季野外運動（スキー）	市川	後期	集中	30 時間
被服製作の理論と実習	佐藤悦	後期(後半)	火3.4.5	30 時間
生物学実験	谷, 小川	後期	木4.5	30 時間
計算機数学演習	林田	後期	木 4	30 時間
カウンセリング基礎演習	山本隆	後期	水 2	30 時間
心理学実験	森口 他	後期	木3.4	30 時間
書写書道Ⅰ	押木	後期	月 2	30 時間
物理学実験	定本, 長谷川敦	後期	月3.4	30 時間
木材機械加工法	東原	後期	月 4	30 時間
機械工学実習	黎	後期	木 4	30 時間
彫刻表現Ⅰ	松尾	後期	木 5	30 時間
被服学実験A	佐藤悦	後期	木4・5	30 時間
伝統絵画表現と鑑賞	洞谷, 伊藤将	後期	火 5	30 時間
デザインワークⅠ	安部	後期	木 3	24 時間

博士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
大学院 学習臨床学特論	松本健義 他	前期	木 4	15 時間
大学院 意味生成表現と教材開発	松本健義 他	前期	月 5	15 時間
大学院 学習場面臨床学特論	松本 健義	前期	月 2	15 時間
大学院 造形表現学習過程特論	松本 健義	後期	火 2	15 時間
大学院 特別支援教育研究法演習	我妻敏博 他	通年	不定期	60 時間

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国語（書写を含む。）	押木	前期	集中	30 時間
社会	畔上 他	前期	火 5	30 時間
音楽	長谷川正 他	通年	月 6	12 時間
図画工作	洞谷 他	前期	木 6	60 時間
家庭	細江 他	前期	月 2	30 時間
初等道徳教育論	林	前期	金 6	30 時間
特別活動論	橋本	前期	金 1	30 時間
初等理科指導法	小林辰 他	前期	火 6	30 時間
初等音楽科指導法	時得, 尾崎	前期	火 2	30 時間
初等体育科指導法 B	周東 他	前期	月 1	30 時間
初等体育科指導法 C	周東 他	前期	水 1	30 時間
初等家庭科指導法	得丸, 佐藤ゆ	前期	木 6	30 時間
理科	中村 他	後期	月 2	30 時間
体育	榊原 他	後期	火 5	30 時間
算数科指導法	高橋等, 伊達	後期	水 6	30 時間

⑤ リサーチ・アシスタント

任 用 期 間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
平成25年5月1日 ～平成26年3月31日	360時間	造形表現行為の形成過程における活動単位と学習に関する臨床学的研究	学校教育研究科	松本 健義 教授